



友尻川

くまむら議会だより

114号
2024.8.26

さらなる
復なる
旧・復興

友尻の瀬を下る
ラフティング

もくじ

6月定例会	2
第4回臨時会	4
編集後記	12

6月定例会

6月定例会は、6月3日から6日までの4日間で開催され、報告3件、条例2件、予算2件、財産1件が上程され、すべての議案が、原案のとおり可決しました。一般質問では6人が登壇し、復旧復興や各種施策について、執行部の考えを質問しました。

6月定例会

会期日程

令和6年6月3日～

令和6年6月6日

会期 4日間

審議内容

報告3件、条例2件、
予算2件、財産1件
合計8件を審議

審議内容は次のとおりです。

(審議の結果は3頁に掲載)

【報告】

① 令和5年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

② 令和5年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

③ 令和5年度球磨村簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

【条例】

① 球磨村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

* 条例において、マイナンバーを情報連携する事務について法「別表2」を引用していましたが、今回の法改正により「別表2」が廃止され、「特定個人番号利用事務」と定義されたことから、この法改正に合わせた条例改正。

② 球磨村職員の分限の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について

* 条例には、職員の意に反する降任、免職及び求職の手続き及び効果に関して定めてあり、第5条の失職の例外規定において、「過失による事故、かつ、職務上生じたもの」とあるのを、「職務上」を削り、職務

外の活動も対象とするものです。

円となります。

③ 球磨村重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

* 医療費助成に係る自己負担額について、入院の場合2,040円を2,000円に、入院外の場合1,020円を1,000円に改正。

【予算】

① 令和6年度球磨村一般会計補正予算について

補正予算の主なものは、

○ 児童手当の支給対象年齢の引き上げ、支給額の変更に伴うシステム改修業務委託料141万3千円
○ 新型コロナウイルス感染症のワクチン予防接種関連経費1,423万円。

○ 災害復旧費で測量設計業務委託料969万9千円等、補正額4,126万9千円を追加し、歳入歳出予算総額59億6,048万8千

【財産】

財産の処分について

(村有林の法正林化)

財産の処分について、法正林化に基づく村有林の伐採についての議案を可決。

6月定例会 審議した議案等とその結果

議案番号	件名	結果	賛成	反対
報告第3号	令和5年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告	9	0
報告第4号	令和5年度球磨村一般会計予算事故繰越し繰越計算書について	報告	9	0
報告第5号	令和5年度球磨村簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告	9	0
議案第29号	球磨村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第30号	球磨村職員の分限の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第31号	球磨村重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第32号	令和6年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第33号	令和6年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第34号	財産の処分について（村有林の法正林化）	原案可決	9	0

(採決の人数は、議長を除く9名)

訃報

犬童 勝則議員 逝去

犬童 勝則議員（65歳）が令和6年6月22日に逝去されました。

犬童議員は、平成26年5月に初当選以来、3期にわたり球磨村議会議員を務められ、その間、議会運営委員長として円滑な議会運営にご尽力されるなど、数々の功績を残し、農林業をはじめとする村政の振興発展に貢献されました。

ここに、犬童議員の在りし日を偲び、生前のご功績に対し心からの敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

第4回臨時会

第4回臨時会が5月8日に開催され、村長再選後の肉付け予算となる一般会計補正予算が可決しました。

【承認】

- 専決処分の報告及び承認について
(球磨村税条例の一部を改正する条例の制定について)
- 専決処分の報告及び承認について
(球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)
- 専決処分の報告及び承認について
(指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について)
- 専決処分の報告及び承認について
(令和5年度球磨村一般会計補正予算及び各特別会計補正予算)

【財産】

- 財産の取得について
神瀬地区で整備している買取型小規模改良住宅について、大和ハウス工業株式会社熊本支店より、契約金額2億4,340万4,700円で買い取ることとする議案を可決

【予算】

- 令和6年度球磨村一般会計補正予算の主なものは次の通りです。
- 議会運営の効率化、活性化を図るため、タブレット端末の購入に係る関連費用611万円。
- くまむら復興祭を今年も実行することとし、関連費用として710万円。
- 球磨村森電力と連携して実施する脱炭素先行地域事業に補助金として、1億7,565万6,000円。
- 人口減少対策として、結婚新生活支援補助金、空き家利活用促進補助金、移住定住促進支援給付金の新たな事業に713万円。
- デジタル田園都市国家構想事業費において、地域おこし協力隊制度を活用して移住定住施策を進める事業等1,297万円。
- 農業費では、産業振興対策補助金等負担金補助及び交付金に681万円、毎床地区における基盤整備事業を進めるため換地等整備事業に800万円。
- 林業費では、有害鳥獣の増加

に伴い農林産物の被害も顕著になっていくことから、有害鳥獣捕獲事業補助金に2,240万9,000円。

- 山村振興費においては、国の山村活性化対策事業を活用し、球磨村特産品開発協議会への貸付金として1,000万円。
- 土木費の住宅管理費では、公営住宅の維持管理のために国の補助金等を原資として7,450万3,000円を基金積立。
- 災害復旧費では、村道神瀬高沢線災害復旧工事等工事請負費に8億5,000万円。

【人事】

- 球磨村農業委員会委員任命の同意について
1名欠員となっていた球磨村農業委員会委員について同意されました。

球磨村農業委員
大無田 善一氏(大無田班)

第6回臨時会

第6回臨時会が7月3日に開催され、契約4件、協定1件、予算2件の議案が可決しました。

【契約】

- 工事請負変更契約の締結について
(林道大槻大岩線道路災害復旧工事(令和2年7月災))
 - 工事請負契約の締結について
(林道川島大岩線(6号)道路災害復旧工事(令和2年7月災))
 - 工事請負契約の締結について
(林道川島大岩線(1号~2号)法面災害復旧工事(令和2年7月災))
 - 工事請負契約の締結について
(神瀬地区避難地造成工事)
 - 球磨村管内宅地かさ上げ事業の施行に関する国との協定の締結について
- ## 【予算】
- 令和6年度球磨村一般会計補正予算について
 - 令和6年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について



こがね保育園で開かれているこども食堂

村長が考える球磨清流学園の特色ある教育方針とは

田代 利一 議員



答

学校、家庭、地域、行政が連携し、ふるさと学やプログラミング教室など魅力ある学校づくりを進めることで、子育て世帯に選ばれる学校を目指していきたい。

問

これまで、子ども食堂にどのような支援をしてきたのか。また今後はどのような支援を行っていくのか。

保健課長

毎月1回の食堂運営と、昨年度は5月から7月までの間に18回にわたり、球磨中学校に部活動前のおにぎり配布を実施されたと聞いている。昨年度の実績としては、村では15万円を支援した。今年度も同様に開催回数に応じた支援を行うこととしている。

問

学童保育の支援について、現在、渡保育園とこがね保育園の自主事業で学童保育を実施している。多額の月謝を保護者に求めることは難しいようで、昨年度、両保育園で送迎支援や職員の人件費の支援などをお願いされたようだ。しかし、村からは何の返答もないとのことだが、なぜ回答しないのか。

保健課長

3月に両園に放課後子ども健全育成事業の説明を行い、

ヒアリング等も行った。その後、各園から国の事業基準を満たすことができないとの返事を頂いたと聞いている。また、聞き取りの際に運営資金やスクールバスの利用などの課題は聞いており、協議中ということも回答している。

村長

両園が自主的に行っている事業に、村がどのような支援ができるのかということは今検討しているところである。

問

学童保育に、多いときには1日に20人来るそうだ。国の補助がなかったら村独自でも支援していいと思うが。例えばよその自治体では、国の補助の要件を満たさないで独自で改正をして、保育園の実績に応じてくれている町村もあるので、村も条例を改正してでもできるようにお願いをしたい。

村長

自主事業とされる部分についても、どういう支援ができるのかとしっかりと検討してみたい。

問

敬老祝金の金額について、引き上げていいと思うが、どう考えるか。

村長

この条例については、数年前に条例を改正させていただいて決めた。金額等については、他町村と比較しても決して劣るような金額ではない。村としては、健康教室とか介護予防、あとは介護が必要になった後も安心して家で生活できるような、そういった取り組みにしっかりと支援をしていくという方向で、考えている。

問

今後の農業振興の方向性について、村長の考えは。

村長

3年間の時限措置ではあるが、産業振興対策事業補助金の補助率を上げさせていただいた。併せて、新たな農業継承に関する補助メニューを創設しており、事業継承に関わる費用を補助すること、後継者と担い手の育成に努めていく。本年度からの3年間というのは、しっかりと投資的な意味でも、農業その他について取り組んでいきたいと考えている。

仮設住宅を活用した村有住宅建設の予定は

西村 尚賜 議員



答 移住、定住促進のため、総合運動公園グランド内の整備や必要な場所への移築を検討する。

問 村の基盤整備が「定住人口の維持」のため重要な施策とあるが、居住に関して、総合運動公園周辺の村有住宅の改修状況は。

村長 総合運動公園内の木造仮設住宅を県より譲り受け、村有住宅として改修工事を行っている。芝生広場側は3月末に完成し、現在15世帯が入居されており、グラウンド側は10月頃に完成見込みであり、仮設住宅にお住まいの方々の生活再建につながると考えている。

問 や必要な場所へ移築活用する検討を進めている。

総務課長 宅地の分譲、造成工事が進捗している一王寺団地及び塚ノ丸団地の応募状況は。一王寺団地は残り2区画、塚ノ丸団地は1期造成工事分が

問 残り10区画、2期造成工事分が残り8区画となっている。なお、空き区画の募集を継続して行っている。

村長 塚ノ丸団地の2期造成工事には、3月に業者と契約となっているが、梅雨期に入る6月になっても工事が始まっていないが。

建設課長 2期造成工事は、契約を3月に行い、現在、余裕工期の期間90日を取っている。着工が6月中旬以降の予定であり、竣工は令和7年1月14日となっている。

問 結婚新生活支援補助金、子育て支援である出生児祝金、高校生等教育支援金は、「定住人口の維持」に必要な重要な支援策であるが、支給の要件(条件)は。

復興推進課長 結婚新生活支援補助金の支給要件は、新婚の生活補助として村に居住され、夫婦とも39歳以下、1回限りとなる。

問 それぞれの支援金、補助金の要件に村内に居住という要件があるが、災害発生以降、村内の住環境は大きく変化した。村外で生活する住民登録がある方々を支給の対象にできないのか。

村長 執行部内でも、そういったご意見があると言ったことで議論を交わしたが、村内居住という基準を外すことはできない。村としては、やむなく村外で生活されている方々にできる限り早く帰ってこられるよう村有住宅、空き家・空き地バンク等の取り組みを進めていく考えである。



改修工事中の村有住宅と今後、改修・移築予定の仮設住宅

将来にわたる村政発展のための政策実現をどのように考え、検証し、どう実行していくのか 永椎樹一郎 議員



答 災害からの復興の先にある持続可能な村の実現に、
村民、議会、執行部が二つになって取り組んでいく。

問 2期目の村政運営、松谷カラーが、村民の暮らしや豊かさにとどのように取り組み、前へ進めていくのか。

村長 最大の課題は、人口減少対策と考えている。復旧・復興を進めながら、観光振興等に取り組み、交流人口・関係人口の拡大を図り、球磨村の魅力度アップを目指す。

問 2期目のこれからの4年間、将来にわたるための村政の発展、必要なことは。

村長 漠然な言い方になるが、その場のしのぎの施策はしないよう、40年後、50年後の球磨村、持続可能な球磨村のための施策でなければならぬ。議会、村民の意見を聞きながらしっかり取り組んでいく。

問 1期目に掲げられた公約の実現、検証はどう考えているのか。

村長 1期目に掲げた公約、実現に向けて取り組みはできていないが、方向性ということでは、公約に掲げたような方向で進んでいる。

問 村民の意見を聞きながら持続可能な村づくりをやっていくことは重要、その先にある政策の実現、振興策についての考えは。

村長 人口減少のなかで、社会減を社会増につなげていく。具体的に言えば、子育て支援、子どもに対する支援の拡充をしていることも施策の一つである。それ

と産業、観光の振興、もちろん農林業の振興もあるが、観光というところの可能性をしっかりと追求していく。

問 村政運営責任者としての覚悟、政治信条、政治姿勢は。

村長 将来を見据えた施策、真面目に村政運営を行っていく。村長という立場であっても謙虚に村民の皆様に対峙し、村政を進めていく。

問 村長の政治信条、政治姿勢は何事にも謙虚と

いうことであるが、新聞報道で「議会と仲良くする必要はない」「譲れない部分もある」というこの発言の真意は。

村長 まさしくその言葉は、私が発した言葉である。あの言葉の通り、執行部と議会としっかり議論をしていかなければならない。そういう関係性だと思っている。

問 将来に向かってのビジョンを提案すること

が重要である。その政策実現のためには、予算、財源を確保する必要がある。村長自ら国、県に出向き、予算を獲得していただきたいと思う。

村長 いろんな事業や考えている事業に関しては国、県にしっかりと要望をしていく。予算については、要望してすぐに予算が確保できるのか厳しいところがあると思うが、しっかりと要望を続けていく。



総合計画より 未来の球磨村のイメージ図

今後の地域の足を守る公共交通についての考えは

東 純一 議員



答 今後は、予約制の乗り合いタクシーによる運行などの検討も必要であると考えている。

問 本年度、人口減少対策の中心となる移住・定住施策を進めると示されている。具体的にどのような取組を考えは。

村長 移住・定住に係る村の補助制度等の情報発信、希望者のニーズに合う物件の紹介といった業務について、新たに募集する地域おこし協力隊が主体として移住・定住施策を推進していきたい。

問 神瀬の中心部において、住宅の建設は、これまで入居開始予定が何回も延期されている。住宅建設の見通しと、周辺一帯での施設建設に向けた取組計画などは。

村長 小規模改良住宅については、業者において建築着工の準備が進められている。防災拠点施

設については、避難路の完成後に避難地の造成工事に着手する予定となっており、施設の整備については、令和7年度に着工する計画としており、現在、設計を進めている。

問 現在、村内各路線をコミュニティバスが運行されており、利用されている村民も多いが、同時にこれからの運行についての不安もある。今後の地域の足を守る公共交通についての考えは。

村長 コミュニティバスの利用者は、新たに利用される方が少なくなっている。今後は、予約制の乗り合いタクシーによる運行などの検討も必要であると考えている。

問 本年度から義務教育学校として、1年生から9年生が新しく学校生活をスタートした。期待もあれば不安もあるのではないかとと思う。子ども達の心や学園での学習状況は、どのように感じているか。また、教職員の方々も、小中一貫での現場はほとんどの方が初めてではないかと思う。教育現場での連携であるとか対応については、どのような状況か。

村長 学習環境が変わったものの、現在のところ児童生徒の様子に大きな問題はない。新しい学校という意識を持って学校生活を送っているようだ。ただし、先生方の意見では、旧一勝地小学校の北校舎と旧球磨中学校の南校舎で分かれているため、職員間の情報共有が課題となっているようだ。

問 心理的な観点で質問をしたい。小学校最上級生としてきた6年生が中学校へ行くということ、学校も変わり、中一ギャップという言葉も耳にするが、子ども達には、いろんな思い、感情があると思う。開校から2か月が過

ぎた様子はどのように受け止めているのか。

教員長 新しい学校、義務教育学校になったんだという前向きな感情を持って、非常にいろいろな意欲的に取り組んでいる。前期課程の流れ、後期課程の流れ、そしてそが融合したい面というのが生じている。先生方の情報共有という話もあったが、今からが色々なことが分かってくる。お互いに情報を共有しながら、しっかりと進めていく。



球磨清流学園での登下校の様子

村民との座談会の計画は

宮本 宣彦 議員



答 小さい範囲、例えば班、区の範囲の中で話を聞けるような機会を持ちたい。

問 2期目の所信表明で言われた「村民の思いを受け止め」とは。

村長 1期目の4年間は、豪雨災害・コロナ対応で、なかなか村民の声を聞く機会が充分に持てなかった。その反省を踏まえて、今後の4年間は、しっかりと村民の皆さんの声を聞く機会をたくさんつくり、少しでも多くの声を聞きながら、村政運営に反映させていく。

問 先人たちが守り続けた「宝」とは。

村長 長年受け継がれてきた、この球磨村の文化、そして球磨川、球泉洞、棚田、温泉、緑豊かな山々など、この豊かな自然、そしてそこで育まれる人々の生活、暮らし、それが「宝」と考える。



引堤の工事が進む茶屋地区

問 集落の維持ができなくなる地区の発生を懸念しているとは。

村長 災害を受けて、大槻地区で5軒ほどが生活されていた。道路（村道渡大槻線決壊）復旧等も進まない中で、総合運動公園の村営住宅に移ってもらった。今後、

村内において同様の地域が増えることを懸念している。

問 地元勤められる職がなく、高校を卒業した若者などが球磨村に残らない。役場の会計年度任用職員に若い人を積極的に受け入れて、組織の中で一緒に村を引っ張っていくような仕事をやってもらいたいが。

村長 なかなか球磨村役場の採用試験を受けてくれる村内出身の高校卒業生がいないのが現状だ。できるだけ1人でも多く村内からの雇用を考えている。

問 産業振興と観光振興について、どのような支援があるか。どのように取り組むか。

村長 産業振興については、農事養殖への支援に関し、ふるさと納税の返礼品でものごく期待をしている。観光振興については、地域おこし協力隊を中心に観光協会を運営してきた。「森林組合」、「かわせみ」や「さんがうら」のそれぞれが頑張っているが、今まで横

の繋がりがなかった。観光をつなぎ合わせ、1日ツアーといったような観光メニューを考えている。

問 関係人口といえば、いろんな職種の方々が関わりをもって球磨村で仕事をしてもらうというようなことだが、県北では、T関連のTSMCの進出で活気づいている。県南の振興は。

村長 企業誘致に関しては、球磨人吉の大きな課題である。県にも県南への企業誘致をお願いしているが、働いてくれる人がいないという大きな課題があるようだ。

問 消滅可能性自治体に球磨村が入っている。自治体が消滅するということはないが、住民が生活し続けて行くためには、危機感をもって取り組まないとけないのでは。

村長 球磨村に村民がいる限り、消滅はしないよう取り組む。人口減少が最大の課題であり、消滅自治体と言われないような自治体にしていく。

1期目、2期目の所信表明での人口減少対策は

板崎 壽一 議員



答

これからの4年間で子育て支援、住宅の整備、産業振興などをつなぎ合わせて、少しでも人口減少の歯止めが効くような取り組みを進めていく。

問

1期目で「人口減少を抑える事が私の仕事だ」と2期目では「人口減少を抑える事が最大の公約」と言われた事はどうなったのか。

村長

これは全国の問題であり、過疎の自治体である球磨村は、全国のいろんな取り組みを参考にしながら進めていかななくてはならないと思うし、これからの4年間というのは子育て支援、住宅の整備、産業振興、あらゆるものをつなぎ合わせて、少しでも人口減少の歯止めが効くような取り組みを進めていく。

問

豪雨災害発生から、急激に減った要因は災害公営住宅、村有住宅の建設の遅れにより若い世代の人たちが出ていったと思うが。

村長

出ていかれた理由として、いろんな事業の遅れなどゼロでないことは感じている。しかしながら、4年間やってきた災害からの復旧、復興は今できる最大限の事業を進めてきたと認識している。村外へ出られた方が、少しでも球磨村に帰ってもらえるような、復旧、復興の整備が進んでいくように、しっかりと取り組んでいく。

問

村長が目指す村づくりには、職員は必要ではないのか、また、職員の公務員としての意識、知識の向上が薄れていると思うが。

村長

基本的には職員はみんな頑張っていると思うし、しっかり指導する体制は整えている。また、若い職員はある程度長い目を持って育てていかなければいけないと思う。

問

森林環境譲与税は、農林業に関する農業法人、個人林業事業者に対する支援策はないのか。たとえば、ドローンを使った植林苗の運搬等は森林環境譲与税を利用する事は出来ないか。

産振課長

ドローンを使った資材等の運搬の件は、可能な重量運搬の調査



総合計画より年齢3区分人口推移

中であり、実証されれば導入可能と考えている。

村長
森林組合とタイアップして、林業されている方々にいきたるように、いろんな活用方法を勉強して、しっかりと検討していかなければならないと思う。

義務教育学校建設に関する特別委員会による水上学園の行政視察

令和6年6月26日に義務教育学校建設に関する特別委員会では、義務教育学校水上学園の行政視察研修を行いました。

当日は、水上村役場において、水上村議会の那須議長、山崎副議長、小川議員も同席いただき、水上村西野教育長、田代特別委員会委員長の挨拶の後、堤田教育課長より説明を受け、その後水上学園に場所を移して、現地視察を行いました。



水上学園の視察

水上学園の一体型校舎建設に当たっては、国の10分の5・5の補助金を活用し、残りは地方債と補助対象外の施設整備には一般財源を充当されています。

水上中学校の改築と合わせて、職員室や保健室が増築され、渡り廊下の先に5年生から9年生の教室が増設された校舎は、木の香りに包まれて子ども達が伸び伸びと学習できる環境のようでした。

水上学園の特徴

3つのステージと施設一体型校舎を生かした「水上村ならではの教育を創造する、という目標のもと、異学年交流やプレゼン力育成の取り組みによる「学び合い高め合う授業」、海外語学研修や英会話オンラインレッスンを取り入れた「英語教育」、ステージに応じた「ふるさと水上学」など特色ある教育課程が設定されています。

球磨村においても、子ども達が夢と希望を持てる教育環境を目指し、我々議会も尽力していきたいと考えています。



願いを込めて

一勝地阿蘇神社 夏越大祭
「芽の輪くぐり」

くまっこ 清流学園 1年生

国語『大きなかぶ』の音読劇発表会を終えて



学級の目標

クラスの自慢!

- ① なかよく助け合い、命を大切にできる1年生。
- ② 意欲的に学習し、自分の考えを言える1年生。
- ③ あいさつ・へんじができる1年生
- ④ あきらめない心で挑戦できる1年生。

- ・あかるくて元気!
- ・手をあげて発表をがんばる!
- ・そうじがじょうず!

まつの いつき 松野 一月さん
いま、わたしががんばっていることは、プールです。プールで「ゆれいうき」ができるようにがんばっています。かおをつけて、足をのばせるようにがんばっています。

はやしだ あきほ 林田 晃穂くん
ぼくは、かかりのしごとをがんばっています。じかんわりがかりです。毎日、かえるときにじかんわりのカードをこくばんにはっています。そして、じゅぎょうのまえに、みんなにじかんわりをつたえています。

ぢげ うい 地下 憂依さん
わたしは、きゅうしょくをのこさず食べています。くま村のきゅうしょくはおいしいです。もりもりたべています。たくさん食べて元気になります。

きや ひなた 木屋 陽向くん
ぼくは、朝の体育活動をがんばっています。ストレッチでゆびを立ててささえる運動をがんばっています。からだをやわらかくしたいです。うんどうすることはたのしいです。

<担任の先生>
1年1組 井上 加代子教諭
なごみ学級1組 宮川 知子教諭
球磨清流学園開校1年目に入学した1年生は、男子9名、女子8名 計17名です。
パワー全開で毎日、勉強や運動に頑張っています。国語の『大きなかぶ』の音読劇をみんなで力を合わせて取り組み、楽しんで発表できました。何かをやるとき、みんな一致団結できるところが学級のいいところです。また、そうじをととても頑張っています。教室や廊下を一生懸命に掃除している姿がかっこいいです。
球磨清流学園のスローガン、3つのわ。「なかよくしよの(和)、まとまろうの(輪)、伝え合おうの(話)」この3つが達成できるように、これからもいろんな体験を通してがんばっていきます。

編集後記

7月4日が来ました。本年は、穏やかで静かな朝を迎えました。あれから4年、被災者の災害住宅への入居や宅地造成と建築、そして生活道路の復旧等、第一段階の復興は進んだかもしれません。しかし、地域に残りたいと信念を持って生活している私たちは、自宅や地域の嵩上げ工事がようやく進みつつあるところ。地域の宝である「みんなが助け合って楽しく生活できる地域づくり」には未だ至っていない状況であり、目の前にある生活をどうやって乗り越えて行くかで精一杯なのではないでしょうか。
球磨村の人口減少は激しく、過疎化高齢化が進んでいます。いま住んでいる私たち、そして、村外に避難されておられる方々が帰村され「球磨村は素晴らしところだ」と思えるよう、新たなむらづくりを推進しなければならぬと思います。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 板崎 壽一 |
| 副委員長 | 西林 尚賜 |
| 委員 | 宮本 宣彦 |
| 委員 | 永椎 樹一郎 |

宮本 宣彦

■球磨村世帯数:1,198世帯 ■人口:2,677人 男:1,290人 女:1,387人(令和6年8月1日現在)